



2022年4月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年11月26日

上場会社名 株式会社ヤガミ
 コード番号 7488 URL <https://www.yagami-inc.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長
 四半期報告書提出予定日 2021年11月30日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 名
 (氏名) 小林 啓介
 (氏名) 佐貴 匡
 TEL 052-951-9252

(百万円未満切捨て)

1. 2022年4月期第2四半期の連結業績(2021年4月21日～2021年10月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年4月期第2四半期	5,066	12.7	813	12.4	825	11.7	524	14.7
2021年4月期第2四半期	4,496	15.1	723	26.7	738	26.8	457	15.7

(注) 包括利益 2022年4月期第2四半期 581百万円 (17.7%) 2021年4月期第2四半期 493百万円 (16.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年4月期第2四半期	99.99	
2021年4月期第2四半期	87.14	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年4月期第2四半期	16,437	12,230	71.0
2021年4月期	16,464	12,173	70.7

(参考) 自己資本 2022年4月期第2四半期 11,663百万円 2021年4月期 11,642百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年4月期		0.00		100.00	100.00
2022年4月期		0.00			
2022年4月期(予想)				78.00	78.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年4月期の連結業績予想(2021年4月21日～2022年4月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,000	11.6	1,250	23.2	1,285	22.2	815	21.8	155.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年4月期2Q	5,300,000 株	2021年4月期	5,300,000 株
期末自己株式数	2022年4月期2Q	54,636 株	2021年4月期	54,590 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年4月期2Q	5,245,373 株	2021年4月期2Q	5,245,463 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、感染対策商品の需要が引き続き好調だったことに加え、エレクトロニクス関連市場向けの売上が伸長したため、売上高50億66百万円（前年同期比12.7%増）、営業利益8億13百万円（同12.4%増）、経常利益8億25百万円（同11.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益5億24百万円（同14.7%増）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

理科学機器設備

改修工事に伴う学校家具類の売上は前年実績を下回り低調に推移したものの、国内外において滅菌機の売上が好調を維持したため、売上高は23億41百万円（前年同期比4.8%増）、セグメント利益は3億46百万円（同1.5%増）となりました。

保健医科機器

昨年度から続く新型コロナウイルス感染症対策費の補正予算により感染対策商品の受注が好調だったことや、AED等救急資機材関連商品が昨年の緊急事態宣言の影響による売上の落ち込みから回復したため、売上高は14億70百万円（前年同期比21.1%増）、セグメント利益は2億97百万円（同23.0%増）となりました。

産業用機器

半導体業界の設備投資によりエレクトロニクス関連の受注が増加したことに加え、東アジア地域において環境試験装置の需要が伸びたため、売上高は12億54百万円（前年同期比19.5%増）、セグメント利益は1億80百万円（同16.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は164億37百万円となり、前連結会計年度末に比べて26百万円減少しました。これは主に、商品及び製品が2億95百万円、原材料及び貯蔵品が1億13百万円増加した一方、現金及び預金が3億82百万円、電子記録債権が87百万円減少したこと等によるものであります。負債は42億7百万円となり、前連結会計年度末に比べて82百万円減少しました。これは主に、電子記録債務が4億93百万円増加した一方、未払法人税等が2億66百万円、支払手形及び買掛金が1億58百万円、賞与引当金が1億47百万円減少したこと等によるものであります。純資産は前連結会計年度末に比べて56百万円増加し122億30百万円となり、自己資本比率は71.0%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ3億82百万円減少し、59億16百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は、1億15百万円（前年同四半期は6億2百万円の獲得）となりました。これは主に、法人税等の支払額4億67百万円、棚卸資産の増加額4億41百万円、賞与引当金の減少額1億47百万円があった一方、税金等調整前四半期純利益が8億24百万円、仕入債務の増加額3億29百万円があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により獲得した資金は、26百万円（前年同四半期は1億17百万円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出19百万円があった一方、有価証券及び投資有価証券の償還による収入50百万円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、5億24百万円（前年同四半期は3億72百万円の使用）となりました。これは配当金の支払額5億24百万円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年5月28日に発表いたしました通期の業績予想につきましては、現時点において変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年4月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年10月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,109,462	7,726,996
受取手形及び売掛金	2,094,714	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	2,063,101
電子記録債権	522,798	435,150
有価証券	316,490	370,170
商品及び製品	893,104	1,188,964
仕掛品	113,554	145,742
原材料及び貯蔵品	400,360	514,053
その他	188,343	293,145
貸倒引当金	△2,448	△1,877
流動資産合計	12,636,381	12,735,446
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	291,694	286,809
土地	1,346,573	1,346,573
建設仮勘定	158	—
その他（純額）	60,579	66,206
有形固定資産合計	1,699,005	1,699,589
無形固定資産		
ソフトウェア	53,955	45,502
その他	4,492	4,492
無形固定資産合計	58,447	49,995
投資その他の資産		
投資有価証券	1,705,029	1,627,621
繰延税金資産	329,776	289,889
その他	40,713	40,414
貸倒引当金	△4,999	△4,999
投資その他の資産合計	2,070,519	1,952,926
固定資産合計	3,827,973	3,702,511
資産合計	16,464,354	16,437,958

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年4月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年10月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	959,287	801,201
電子記録債務	776,550	1,269,625
未払金	61,188	50,809
未払法人税等	484,689	218,124
契約負債	—	515,157
賞与引当金	382,137	235,089
その他	415,128	174,960
流動負債合計	3,078,982	3,264,968
固定負債		
役員退職慰労引当金	192,888	191,581
退職給付に係る負債	342,642	340,434
繰延税金負債	8,172	36,364
その他	667,733	374,115
固定負債合計	1,211,436	942,495
負債合計	4,290,418	4,207,464
純資産の部		
株主資本		
資本金	787,299	787,299
資本剰余金	676,811	676,811
利益剰余金	10,144,356	10,144,275
自己株式	△34,280	△34,381
株主資本合計	11,574,187	11,574,004
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	68,348	89,450
その他の包括利益累計額合計	68,348	89,450
非支配株主持分	531,399	567,038
純資産合計	12,173,935	12,230,493
負債純資産合計	16,464,354	16,437,958

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月21日 至2020年10月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月21日 至2021年10月20日)
売上高	4,496,941	5,066,371
売上原価	2,748,097	3,112,428
売上総利益	1,748,844	1,953,943
販売費及び一般管理費	1,024,981	1,140,349
営業利益	723,862	813,593
営業外収益		
受取利息	1,131	1,095
有価証券利息	5,610	5,834
受取配当金	3,557	3,850
不動産賃貸料	203	203
その他	5,233	1,246
営業外収益合計	15,735	12,230
営業外費用		
支払利息	117	117
売上割引	529	—
為替差損	284	694
営業外費用合計	931	811
経常利益	738,666	825,012
特別損失		
固定資産除却損	—	89
投資有価証券評価損	30,142	—
特別損失合計	30,142	89
税金等調整前四半期純利益	708,523	824,923
法人税、住民税及び事業税	203,512	206,049
法人税等調整額	22,817	58,774
法人税等合計	226,329	264,824
四半期純利益	482,194	560,098
非支配株主に帰属する四半期純利益	25,084	35,638
親会社株主に帰属する四半期純利益	457,110	524,460

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月21日 至 2020年10月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月21日 至 2021年10月20日)
四半期純利益	482,194	560,098
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,623	21,101
その他の包括利益合計	11,623	21,101
四半期包括利益	493,817	581,200
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	468,733	545,561
非支配株主に係る四半期包括利益	25,084	35,638

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月21日 至 2020年10月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月21日 至 2021年10月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	708,523	824,923
減価償却費	40,275	37,374
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	17,388	△2,208
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	805	△1,306
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△120,509	△147,048
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△913	△570
受取利息及び受取配当金	△10,298	△10,779
支払利息	117	117
投資有価証券評価損益 (△は益)	30,142	—
固定資産除却損	—	89
売上債権の増減額 (△は増加)	△206,588	—
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	—	119,260
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△89,203	△441,740
仕入債務の増減額 (△は減少)	331,640	329,638
その他	△48,442	△139,716
小計	652,937	568,033
利息及び配当金の受取額	14,480	15,105
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△65,136	△467,483
営業活動によるキャッシュ・フロー	602,281	115,655
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,810,000	△1,810,000
定期預金の払戻による収入	1,810,000	1,810,000
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△101,569	—
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	—	50,000
有形固定資産の取得による支出	△12,873	△19,234
無形固定資産の取得による支出	△3,395	△3,911
その他	196	△448
投資活動によるキャッシュ・フロー	△117,641	26,406
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△101
配当金の支払額	△372,182	△524,413
財務活動によるキャッシュ・フロー	△372,182	△524,514
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8	△13
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	112,449	△382,466
現金及び現金同等物の期首残高	4,944,325	6,299,462
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,056,774	5,916,996

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

なお、「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号 2021年3月26日)第98項に定める代替的な取扱いを適用し、商品又は製品の国内の販売において、出荷時から当該商品又は製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の期間である場合には、出荷時に収益を認識しております。また、従来は営業外費用に計上していた売上割引については、顧客に支払われる対価として売上高から減額しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。また、利益剰余金の当期首残高への影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することとし、「流動負債」および「固定負債」の「その他」に含まれていた一部の負債は、第1四半期連結会計期間より「流動負債」の「契約負債」として表示することといたしました。また、前第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」に表示していた「売上債権の増減額(△は増加)」は、当第2四半期連結累計期間より「売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月21日 至 2020年10月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	理科学 機器設備	保健医科 機器	産業用 機器			
売上高						
外部顧客への売上高	2,233,654	1,213,593	1,049,693	4,496,941	—	4,496,941
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,233,654	1,213,593	1,049,693	4,496,941	—	4,496,941
セグメント利益	341,397	241,907	155,360	738,666	—	738,666

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月21日 至 2021年10月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	理科学 機器設備	保健医科 機器	産業用 機器			
売上高						
日本	1,770,530	1,466,983	659,550	3,897,064	—	3,897,064
アジア	411,380	3,180	583,284	997,845	—	997,845
その他	159,760	—	11,701	171,461	—	171,461
顧客との契約から生じる収益	2,341,671	1,470,164	1,254,535	5,066,371	—	5,066,371
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,341,671	1,470,164	1,254,535	5,066,371	—	5,066,371
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,341,671	1,470,164	1,254,535	5,066,371	—	5,066,371
セグメント利益	346,682	297,457	180,873	825,012	—	825,012

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しております。